

数データのメッシュ化とオオムギの栽培地帯区分へのその応用, 農業気象, 42, 7-17.  
山田一茂・岩切 敏, 1986b: 北陸地域における農

業気候特性の評価と利用に関する研究(2) メッシュ情報をを用いた最深積雪の推定と柵栽培果樹地帯区分へのその応用, 農業気象, 42, 103-112.

## 日本学術会議会員候補者等の選出方法について

日本気象学会理事会

日本学術会議会員の選出方法は第13期から改訂された。これに対して日本気象学会理事会は時間的制約のため、理事会で会員候補者および推薦人の選考方法を審議し、次期以降についてはあらためて検討するという条件で決定した。それらの経過や結果については「天気」第31巻第11号672頁および第32巻第4号173頁に述べられている。

理事会は本件について、これまでの経過や学術会議における第13期会員の選考過程をふりかえり慎重に検討した結果、前回の選考方法はおおむね妥当であるとし、次の選考方式を採ることとした。

(1) 学術会議会員候補者および推薦人の選考委員会(略称 選考委員会)を設置する。選考委員会は5名の委員からなり、その委員は理事会の承認を得て、理事長が指名する。

(2) 選考委員会は、全学会員から学術会議会員候補者の選定の際に対象とすべきものを募る(自薦を含む)。

(3) 選考委員会は、(2)の応募者の中から、会員候補者を選考し理事長に報告する。

(4) 理事長は選考委員会の選考結果に基づき、理事会の承認を得て会員候補者を選定し、推薦人を指名する。

(付 記)

### 日本学術会議における会員候補者及び推薦人の選出方法

日本学術会議会員の選出方法は第13期から改訂された。その要点は、登録学術研究団体が会員の候補者および推薦人を、関連する研究連絡委員会ごとに選考ないし指名し日本学術会議に届け出、この推薦人が研究連絡委員会ごとに定められた数の会員を選考することにある。日本気象学会は登録申請に際し、関連する研究連絡委員会として「地球物理学」を届け出たので、この場合についてやや具体的に要約すると次のとおりである。

(1) 地球物理学研連からは日本学術会議会員2名と補欠1名を推薦できる。

(2) そのため地球物理学研連で19名の推薦人が「登録学術研究団体」より指名される。

(3) 日本気象学会からは推薦人として4名を指名できる。

(4) 日本気象学会からは会員の候補者として、地球物理学研連の定員までの数を選定し届け出ることができると。

なお、第13期においては日本気象学会は、推薦人4名を指名し、会員の候補者1名を選出した。

(「天気」第31巻第11号より抜粋、なお、人数等はその後変更がありました。)